

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議は、入居者や家族が外部に意見を表出出来る機会でもあるので、家族の参加が得られる努力の継続を望みたい。開催案内と共に議事録を家族向けに編集し「フレンズ通信」に掲載して送付するなど、出席したくなる様な工夫が望まれる。	運営推進会議の参加メンバーとして、ご家族に参加して頂ける様にする。	ご家族様に会議の状況・議事録等を報告しながら、推進会議への参加の意向を伺っていく。	6ヶ月
2	7	事業所の会議や行事はフロア毎に行われ、職員が他フロアと交流したり、意見交換する場が持たれていない。事業所全体の課題や提案をまとめるフロア合同会議やフロア同士の交流をする事により、情報や更なるサービスの向上に活かせる事を期待する。	フロアで分け隔てなく合同で事業所全体のサービス向上に繋げる様にする。	管理者・主任が中心になって、1・2階合同の会議を開き、それぞれのフロアの課題等について意見交換を行う。また、合同の行事を企画し、交流の場を増やす。	6ヶ月
3	12	ターミナルケアを提供していく為には事業所として、職員の能力やかかりつけ医、地域、入居者の反応を見極めながら、早め早めの対応が必要になる。計画的な研修や話し合いを重ねて、家族の希望に沿ったケアが出来る様に期待する。	医療行為を必要としない事が前提にはなるが、ご家族や本人が希望されれば、少しでも長くフレンズハウスで過ごして頂ける様にする。	現状では、ターミナルケアについて職員の知識や経験が十分でない。今後に向けて、研修や勉強会を行い職員のスキルアップを図ると共に医療体制をしっかりと整える。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。